

総務企画常任委員会及び予算常任委員会（第一分科会）

平成26年12月9日（火曜日）午前9時57分開会

出席委員（7名）

委員長 平山啓子
委員 藤村由美子
委員 君島一郎
委員 玉野宏

副委員長 鈴木伸彦
委員 伊藤豊美
委員 山本はるひ

欠席委員（なし）

紹介議員（なし）

説明のための出席者

企画部長 片桐計幸
企画情報課 古内貢
企画情報課 鹿野伸二
企画情報課 長補佐
情報管理係長 相樂尚志

シティプロモーション室主 浅賀亜紀子

総務課長 赤井清宏
行政係長 福田博昭
人事研修係長 広瀬範道
財政課長 八木澤秀
財政係長 村松一紀
課税課長補佐 五十嵐岳夫
兼税制係長
総務福祉課長 君島紀夫
産業観光建設課長補佐兼建設係長 吉澤克博

企画情報課長 佐藤章
企画情報課 斉藤一太
企画政策係長 高久修
シティプロモーション室長 栗野誠一

総務部長 和久強
総務課長補佐 田代正行
危機対策係長 平井克巳
給与厚生係長 岸上容子
財政課長補佐 相馬勇
兼管財係長
課税課長 稲見一志
塩原支所長 成瀬充
産業観光建設課長 印南良夫
観光商工係長 神山栄

会計管理者兼
会 計 課 長 大 島 厚 子
歳 出 係 長 後 藤 明 美
選管事務局長
補 秋 元 武 志

会計課長補佐
兼 歳入係長 室 井 富 美 子
選管事務局長 阿 美 豊

出席議会事務局職員

書 記 小 池 雅 之

議事日程

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 審査事項

〔塩原支所〕

・塩原支所長挨拶

〔総務福祉課〕

予算審査

・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔産業観光建設課〕

予算審査

・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔総務部〕

・総務部長挨拶

〔総務課〕

・議案第84号 那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について

予算審査

・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔財政課〕

予算審査

・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔課税課〕

予算審査

・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔選挙管理委員会事務局〕

・選挙管理委員会事務局長挨拶

予算審査

・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔会計課〕

- ・会計管理者挨拶

予算審査

- ・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

〔企画部〕

- ・企画部長挨拶

〔企画情報課〕

- ・議案第80号 那須地域定住自立圏共生ビジョン懇談会条例の制定について
- ・議案第83号 組織機構改革に伴う関係条例の整備等について
- ・議案第88号 大田原市との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについて
- ・議案第89号 那須町との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについて
- ・議案第90号 那珂川町との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについて
- ・議案第91号 公の施設の指定管理者の指定について
- ・議案第93号 新市建設計画の変更について

予算審査

- ・議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）

4. その他

5. 閉 会

開会 午前 9時57分

開会及び開議の宣告

平山委員長 皆さん、おはようございます。

時間がまだ早いんですけれども、始めたいと思います。

きょうは本当に穏やかな天気にも恵まれて、また塩原も遠いところから大変御苦労さまです。きょうも皆さんの協力いただきながら、スムーズに進めていきたいと思います。

それでは、ただいまから総務企画常任委員会、あわせまして予算常任委員会（第一分科会）を開会いたします。

それでは、審査の方法について申し上げます。今定例会で総務企画常任委員会に付託された案件は、条例の制定及び一部改正に関する案件が3件、協定の締結に関する案件が3件、指定管理者の指定に関する案件が1件、計画の変更に関する案件が1件の合計8件でございます。

また、予算常任委員会の分科会審査がございます。予算常任委員会に付託された案件のうち、当第一分科会で審査すべき案件は、補正予算案件1件でございます。補正予算案件につきましては、関係所管課のところで随時分科会に切りかえて審査を行います。

審査は担当課ごとに行い、それぞれ総務企画常任委員会、予算常任委員会（第一分科会）の順に審査いたします。

審査の日程はお手元に配布の次第のとおりでございます。

委員各位におかれましては、慎重なる審査をお願いいたすとともに、円滑な進行にご協力くださいますようお願い申し上げます。

それでは、次第3の審査事項に入りたいと思います。

塩原支所の審査

平山委員長 まずは、塩原支所の審査を行います。審査に先立ちまして、成瀬支所長からご挨拶をいただきたいと思います。

成瀬塩原支所長 （挨拶。）

平山委員長 ありがとうございます。

総務福祉課の審査

平山委員長 それでは、総務福祉課の審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できるだけ簡潔にお願いいたします。

今回、総務福祉課につきましては、総務企画常任委員会に対する付託案件がございませんので、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。お願いいたします。君島総務福祉課長 （議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見等をお受けいたします。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 4ページの703事業の蓄電池設備設置工事設計ですが、これは今回は設計的なものですけれども、一応この事業をスタートするに当たっては、最終的には蓄電池まで設置が終わると、事業の総予算と、それからそれを管理していかなきゃいけないと思うんですけれども、その辺の維持管理費は毎年どの程度の計画、考えか。あとは、例えば完全にシャットアウトされた場合、電気が来なかった場合の、例えば1週間はもちますとか、3割ぐらい使えて、1週間はもちますといった、どれぐらいの対応できる蓄電池を考えているのか。

平山委員長 課長、お願いいたします。

君島総務福祉課長 一応総予算につきましては、来年度、27年度の当初予算に蓄電池の設置工事ということで1,400万ほど計上する予定で考えております。

また、維持管理費につきましては、基本的に通常の維持管理費というのは特にございまして、電気的な管理、通常例えば関東電気保安協会であるとか、そういうところでやっている自家用発電関係の電気設備の中の維持点検の中に原則含まれるというふうに考えております。

それと、どのぐらいの容量のことなんですけど、一応蓄電池容量としては15kwということで考えおまして、通常は蛍光灯であるとか、シャットアウトされた、400号が通行どめになって供給されないというふうな場合には、今現在、現在の時点でディーゼル発電機が1台と、それから今回設置する蓄電池ということになると思いますが、ディーゼルにつきましては、通常50L満タンにすれば、その容量にもよりますけれども、五、六時間は1回もちますので、また給油をすれば、燃料があるうちにもつ。その補足動力として蓄電池というふうなことで、そういうものがなくなった

り、燃料がなくなったりした場合でも、太陽光から発電したものを昼間であれば発電して蓄電池にためるとか、それも使う容量によって、今災害対策本部として塩原支所はございますので、そちらのほうを事務的な明るさ、それから避難所の明るさ及びストーブをつけたりとかというときのファンヒーターの電源というものに使うということで15kwで、通常であれば、使う容量にもよりますけれども、やっぱり五、六時間、8時間程度はもつだろうというふうなことで考えております。

以上です。

平山委員長 鈴木副委員長。

鈴木副委員長 今説明受けましたくりが防災対策推進費となっているんですけれども、それはそれで十分効果があると思ったんですけれども、ソーラーの話をしよと思っていたらそちらから先に出たんですけれども、実際は今蓄電池というのはすごく高いんです。

だけれども、ソーラーは昼発電して、それを蓄電にためて自分で使うというシステムということも考えられるんだけれども、何かこれはソーラーで昼間発電した電源を全部に対して、事業所として使う電源のほうが多いので、発電したものは普段は貯蓄されないという、電力の消費の割合としてはそういう状態なんです。

平山委員長 課長。

君島総務福祉課長 基本的に通常電源が通電しているときには、絶えず充電池は満タンにしておくというふうな状態になります。

または、あわせて今現在もう既に設置してあります太陽光の発電のパネルにつきましては、基本的にそのパネルから発電した電気は通常の電気と一緒に使っていますので、余った分はもちろん売電は若干ありますけれども、基本的には全部太陽光の発電は今の庁舎の施設の中で消費していくと

いうふうなことです、蓄電池につきましては、基本的に絶えず満タンの状態にしてあるというふうなことに、それは東電の電気を使うか、太陽光の電気を使うかはちょっとどちらかという色分けはありませんが、基本的に充電電池は満タンにしておく状態にはなるということになります。

以上です。

平山委員長 鈴木副委員長。

鈴木副委員長 これは防災じゃなくても十分、何というか、電気のソーラーパネルをつけたものを生かすという意味でも、これは有効だろうというふうに今感じました。結構です。ありがとうございます。

平山委員長 ほかにございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 では、ほかに質疑はないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案どおり可決すべきものと決しました。

その他

平山委員長 総務福祉課所管の審査事項は以上となりますが、その他で委員の皆様から何かござい

ましたら。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 これというのは国の補助は何割出るんですか。

平山委員長 課長。

君島総務福祉課長 基本的にニューディールの基金という補助金があります。そちらから100%の補助というようなことで。

鈴木副委員長 了解です。

平山委員長 ありがとうございます。

総務福祉課の皆様から何かその他でございませうか。ありませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、ないようですので、総務福祉課の審査を終了いたします。

大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

産業観光建設課の審査

平山委員長 引き続き、産業観光建設課の審査に入ります。

今回、産業観光建設課につきましても、総務企画常任委員会に対する付託案件がございませんので、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号の説明、質疑、討

論、採決

平山委員長 議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。よろしくお願ひします。

印南産業観光建設課長 （議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。

質疑、ご意見等をお受けいたします。

質疑はございませんでしょうか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業観光建設課所管の審査事項は以上となります。

その他

平山委員長 次第にはございませんが、その他で委員の皆様から何かございますか。ありませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 観光建設課の皆様の方からは、その他で何かございますか。

〔「ございません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、ないようですので、産業観光建設課の審査を終了いたします。

これで塩原支所の審査は全て終了となりました。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

入れかえのため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時14分

再開 午前10時19分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

総務部の審査

平山委員長 ここからは総務部の審査を行います。審査に先立ちまして、和久総務部長よりご挨拶をお願いいたします。

和久総務部長 （挨拶。）

平山委員長 ありがとうございます。

総務課の審査

平山委員長 それでは、総務課の審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できるだけ簡潔をお願いいたします。

議案第84号の説明、質疑、討

論、採決

平山委員長 初めに、議案第84号 那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正についてを議題いたします。

執行部の説明を求めます。

赤井課長、お願いいたします。

赤井総務課長（議案第84号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑とかご意見等をお受けいたします。

君島委員。

君島委員 すみません、これは政令か何かでこういう形が出てきたんですか。それともまるっきり市の発案なんですか。

赤井総務課長 この看護休暇というのは、2005年、平成17年4月に改正育児・介護休業法によりましてこの制度が義務化されております。ですから、官公庁ばかりでなくて事業所にもこういった看護休暇が義務化されたと。

君島委員 それで義務化された改正が今回あったための改正ということでもいいんですか。

赤井総務課長 今回は市独自の改正でございます。

というか、組合のほうから要求がございまして、その関係で変えさせていただいています。

君島委員 わかりました。

平山委員長 ありがとうございます。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 市のこういった休暇とか介護法とかというのをちょっと不慣れでわからないんで。

この休暇制度というのは、有給休暇という制度とか、それからあと欠勤の報酬に対する影響、給与が出勤しなかったから減るとか、ボーナスに響くとか、そういったことについてはどういう扱いなんですか。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 この休暇は特別休暇でございまして、これ休んで別に欠勤扱いとか、休みがとれるという権利でございますので、給料のほうには影響しません。

平山委員長 鈴木副委員長。

鈴木副委員長 ということは、基本的には自由にとっても何も問題はないということで、基本的にはやっぱり業務と、業務のその課とか職場なりでやりくりをしなければいけないと考えるべきですね。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 何でもとれると言われたのは、子どもが病気とか、あと健康診断とか予防健診、そういう行ったための休暇でございまして、そういう請求が出れば与えなくちゃならないということでございます。

平山委員長 ほかに質疑ございますか。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 すみません、君島委員の質疑でちょっと感じたんですけども、17年に改正されて、今はもうそれから8年たっています。すぐ対応しなかったのはなぜなんですか。

君島委員 対応はしているんだ。対応はして、小學校で対応しているものを今回は職員組合から申し入れがあったんで、その申し入れに基づいて中学校に市独自で直しますという話。だから、17年のときにはもうできているわけ。

鈴木副委員長 いえ、そうじゃなくて、あったのに市は一緒にやらなくて、これは法律的にはできますということではないんですか。

君島委員 できていたんだと言ってるんです、もう。できていて、だって、かわいそうでしょう、説明している人いるんだから。

鈴木副委員長 そういう制度になっていて、なぜ今ごろ改定をしているのかというのは。

赤井総務課長 制度そのものは、そういった改正育児・介護休業法、それに基づいてもう制度はあったわけです。今回の改正は、小學校就学前から中学校就学前に改正したというものでございます。市のほうにはこういった特別休暇がございました。

平山委員長 玉野委員。

玉野委員 これ具体的に何年延びたという、何年の幅があったというんですか。

赤井総務課長 年齢が延びたということで、休暇そのものは1人目が5日間で、2人目以上になると10日までという。日数は今までどおり。

玉野委員 いやいや、この小学校の式でしょう、中学校の式ですよ、その間が延びたということですよ。何年ですか。

赤井総務課長 6年延びたということでございます。

平山委員長 よろしいですか。

鈴木副委員長 すっきりしない。

平山委員長 部長。

和久総務部長 制度的には、今課長がお話したように17年度からあったんです。そのときにははこの自治体でも小学校入るまでというふうに決めたわけです。なので、それにうちのほうも合わせて小学校までとしたわけなんです、このたび、これも先ほど話が出ましたように職員組合のほうから、やっぱりどうしても小学校以前の子ども、保育園、幼稚園の子どもだけでなく、やっぱり小学校行ったら手にかかるんだというふうな声が大きかったんで、市独自で見直したというふうなことです。

鈴木副委員長 今回それを中学校に延ばしたということですね。

和久総務部長 中学校に入るまでですから、6年生まで対象になるということです。

鈴木副委員長 前からできたということですよ。前からできたんでしょう。

和久総務部長 小学校入るまでの子は前からできていましたけれども、今回はそれを小学6年生まで延ばしたということです。

鈴木副委員長 最初から、17年のときから小学校

までということも可能だったんですよ、そのときは。

和久総務部長 そういうふうな、可能ではあったと思います。ただ、やはり初めての取り組みでもあるし、その時点ではやはりみんなと合わせてやればいいんじゃないかというような考え方でやっていたということです。

鈴木副委員長 その判断は市の裁量だったということですか。

和久総務部長 こういった条件については、悪くするのはまずい。ただ、よくするのはその自治体の考え方というふうなことになると思いますんで、それは可能であったかどうかと問われれば、可能であったというふうなことだと思います。

平山委員長 玉野委員。

玉野委員 このどちらも小学校の式、中学校の式と言いますが、こういう改正するに当たって、中学校の卒業とかという表現はなかったんですか、用語とかは。

平山委員長 課長、お願いします。

赤井総務課長 一般的にその使われ方が小学校就学とか、法律そのものもそういうことでありますので、それに準拠したというような形になります。

平山委員長 玉野委員。

玉野委員 そうすると、6であって9ではないということですね。9年という。

赤井総務課長 何歳というんじゃなくて、年じゃなくて……

玉野委員 9年間というあれはなかったんですか。

〔「9年間じゃないです、これは」と言う人あり〕

赤井総務課長 そういう表現ではありませんでした。あくまでも小学校とか中学校の就学前、そういった文言でございました。

平山委員長 よろしいですか。

鈴木副委員長 ちょっと話が途切れて、さっきのを続けるとすると、今の話だと、逆に言うと、組合のほうから、中学校まで仕事が大変で、こういう制度にしてくれないかということも、この制度はそういうことは可能なんですか。

というか、単純に市と組合の部分でそういう休業の条例をつくっているんでしょうけれども、これは別に問題なく中学校でもできる、高校でもできるというふうに考えてよろしいんですか。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 市の判断でそれは可能だと思います。

鈴木副委員長 周りのほかの自治体の様子とかいろいろ判断して、小学校就学前のものを中学校就学前までということに今回時期を見る、そういう時期したと、そういう考え方だということによろしいんですね。了解しました。

平山委員長 そのほかにありませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第84号 那須塩原市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正については、原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第84号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第72号の説明、質疑、討

論、採決

平山委員長 それでは、ここで予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

赤井総務課長 （議案第72号について説明。）

平山委員長 説明が終わりましたので、質疑、ご意見等をお受けいたします。

山本委員。

山本委員 今の人件費の説明に関してなんですけれども、改めてお尋ねするんですけれども、那須塩原市においては、時間外手当の支払いに関しては全て、全額要求どおり支払っているものだというふうに理解してよろしいですか。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 サービス残業はないと思っています。手当はやった分だけそのまま。

平山委員長 山本委員。

山本委員 それはわかりました。

もう一つ、土曜日とか日曜日とか、庁舎が休みのときに出勤している方というのがいらっしゃると思うんです、仕事によっては。それは残業と言わないんだと思うんですけれども、その勤務時間につまましてちょっとお尋ねしたいんですけれども、普通だと8時半から5時15分というふうに決まっていると思うんです。土曜とか日曜日に仕事をされる方の勤務というのは、8時半から終わるまでとかではなくて、例えば10時から来て3時までとか、1時から来て3時までとかというように、それはその方によって自由になっているのかどうか、関連してお聞かせいただきたいと思います。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 普通時間外では命令でやるものですから、事前に管理職に、課長に承認をもらってやるわけでございますけれども、通常日曜出勤、土曜出勤についても、職員の事情によります。原則は8時半から17時15分、1日になりますと振りかえ、半日でも振りかえというような感じです。

平山委員長 山本委員。

山本委員 お聞きしたかったのは、つまり時間外手当というのは、時間外の仕事は5時15分に終わって、その後やっていくので続きということで、まさか朝3時から来るのではないと思うんですけども、土曜日、日曜日で時々、別にはかっているわけではないんですが、途中の時間から、10時からとか、午後になってからといって仕事をしていらっしゃるということを見るというか、あるんですが、つまりそういうことを許しているのかと。

普通だと8時半から始まって終わるまでというのが、感覚としてはなんです、土日に関しては、その方が課長でオーケーあればいいのかということをお聞きたい。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 先ほどもちょっと申し上げました。基本的には8時半から17時15分までですが、あとは土日でありますので、あとは職員の事情あるいは健康状態、やっぱり休みの日なのでゆっくり寝ていたりとかもありますから、最終的には職員の判断というか申し出になります。

だから、途中出勤、例えば10時から12時とか、10時から2時までとか、そういったことも中にはあります。

平山委員長 山本委員。

山本委員 わかりました。つまりそれは許可をしているというふうに理解してよろしいわけですね。

平山委員長 課長。

赤井総務課長 あくまでも事前に届けてもらうということです。

山本委員 了解です。

平山委員長 よろしいですか。

ほかにございませんか。ありませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 では、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

平山委員長 総務課所管の審査事項は以上となりますが、次第にはございませんが、その他で委員の皆様から何かございますか。

藤村委員。

藤村委員 （市からの郵便物の発送について）

平山委員長 ありがとうございます。

玉野委員、どうぞ。

玉野委員 （郵送料増額の原因について）

平山委員長 そのほかございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 では、ないようですので、総務課の審査をこれで終了いたします。

大変お疲れさまでした。ありがとうございました。
た。

執行部入れかえのため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時49分

再開 午前10時59分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

財政課の審査

平山委員長 財政課の審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できるだけ簡略にお願いいたします。
今回、財政課につきましては、総務企画常任委員会に対する付託案件がございませんので、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

八木澤課長。

八木澤財政課長 （議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございました。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見等をお受けいたします。

山本委員。

山本委員 4ページの財政調整基金を積み増した
ことについてなんですけれども、全部で50億になったということで、これは若干多いのではないか
というふうに感じるんですけれども、そういうこ
とはないですか。

八木澤財政課長 県内平均でいいますと、前に調
べたところによりますと18%くらい積んでいるの
が県平均なんですね。そうしますと、うちのほう
としては、トータルで40億ぐらいだと県平均ぐら
いになるのかなと。そういう意味では、ちょっと
多目ですけれども、来年度に向けて10周年記念事
業とか、これからはいろいろな定住促進事業とか
ありますので、そういったほうのために今は貯金
しておく時というような考えであります。

平山委員長 山本委員。

山本委員 基本的な考えとして財調20%ぐらいと
いうのは持っているということによろしいですか。
それくらいだというのが、まあ適正というのはな
いと思うんですが、それくらいはあっていいとい
うか、いいんだというふうに考えているというふ
うに理解してよろしいんですか。

平山委員長 課長。

八木澤財政課長 私どものことし2月につくった
中長期財政の見通し、これに基づいて執行してい
るわけですけれども、その中でも18%というのを
一つの基準としてやっております。

以上です。

山本委員 了解です。

平山委員長 ほかにございませんか。

君島委員。

君島委員 これ、全般的な話になっちゃうと思う
んですけれども、今回の補正で特別交付税が15億
何がしのお金が入らなかったときに、仮にですよ、
これ、入ってきたから今回の補正は自主財源とい

いますか、それらの部分が全くなくても補正を組んでいるんですけれども、先ほど総務の方でやった人件費でいくと、人件費だけで1億7,700万という増額のものが出ていますが、これ、15億が入ってこなかった場合に財政的な部分としては、その1億7,000万というのは何で充てるような考えだったんですか。

平山委員長 課長。

八木澤財政課長 入ってこない場合には、もちろん財政調整基金のほうは積み戻しとかはできません。それと、学校耐震改修が前倒しで入ってきておりますので、一応、予備費は現在4億5,600万あるんですが、それを大部分取り崩してやるような形になったと思います。今回はおかげさまでそういったものを全て積み戻しできて、それから学校耐震の対応をして、人件費の1億7,000万の対応をして、さらに6,000万円財政調整基金積めたということなものですから、そういうことは一切できないで、予備費を3億とかそういうふうに取り崩すような形になったかと思います。

以上です。

もちろん、子ども未来基金も積みませんでした。君島委員 単純に考えたって子ども未来基金の7億と積み戻しとかで全部やっていくと、基金関係で11億からのお金が今回は15億の中から11億充てられたので、単純に計算すると。4億の部分で耐震化とかに充てられたほか、1億分も人件費に充てられたんだろうと思うんですけれども、もしこの15億が入らなかったと仮定したときに、財政的にどうだったのかなと思ったので今お聞きしただけです。

以上です。

平山委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、

質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

平山委員長 財政課所管の審査事項は以上となりますが、次第にはございませんが、その他で委員の皆様から何かございますか。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 （経常収支比率について）

平山委員長 ほかにございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、財政課の皆様の方から、何かその他でございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、ないようですので、財政課の審査を終了いたします。

ここで執行部入れかえのため、暫時休憩いたします。

休憩 午前11時14分

再開 午前11時15分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

課税課の審査

平山委員長 課税課の審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できるだけ簡略にお願いいたします。

今回、課税課につきましては、総務企画常任委員会に対する付託案件がございませんので、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長、お願いします。

稲見課税課長 （議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見等をお受けいたします。

君島委員。

君島委員 これ今、説明を受けて、全国的にこうなるわけですね。その中で、システムの開発の業務委託を今回出すということで、TKCということなんですけれども、これ、全国で共通のシステムを使うということで、日本全国で共通のシステムで末端の市町村がやるということで、国が開発とかそういうふうにはならないんですか。

稲見課税課長 それはならないですね。

国がやるのは情報提供ネットワークシステム。そっちは国がやります。ですから、そこにアクセスするのは各市町村になります。

平山委員長 君島委員。

君島委員 すると、ばらばらのやつで構わないという解釈なんですか。各市町村がおのこの開発したものでやっていくということによろしいんでしょうか。

稲見課税課長 はい。

君島委員 はい、いいです。

平山委員長 山本委員。

山本委員 今、国税の中でエルタックスだけ、使っているの、それはなくなるんですか。

平山委員長 課長。

稲見課税課長 それも番号制が入りまして、同じようにうちのほうに申告がされます。

山本委員 使っているんですね、個人で。それがそのままじゃなくて、それも全部今度は変わった番号になってこれに一括になるということではないんですか。

平山委員長 課長。

稲見課税課長 先ほどの資料のイメージにあったんですけども、5ページ、右下のほうに番号が振ってあると思うんですが、地方税分野における税番号制の利用場面ということで、右側の四角の中の右上に国税当局、エルタックスとありますね。これが確定申告の番号をつけて、今度、市町村のほうへ送られてくる。番号をつけてということになります。

山本委員 生きている。バツに見えたの、ごめんなさい。

稲見課税課長 そうじゃないんです。本当はカラーなものですから。一応そういうことで、生きております。

山本委員 了解しました。すみません。

平山委員長 ほかに質疑ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了いたします。

討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

平山委員長 課税課の審査事項は以上となりますが、その他で委員の皆様から何かありますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 課税課の皆様からその他でありませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、ないようですので、課税課の審査を終了いたします。

これで総務部の審査は終了となります。大変お疲れさまでした。

執行部入れかえのため、暫時休憩いたします。

休憩 午前11時27分

再開 午前11時37分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

選挙管理委員会事務局の審査

平山委員長 ここからは、選挙管理委員会事務局の審査となります。

審査に先立ちまして、阿美事務局長からご挨拶をいただきたいと思います。

阿美選挙管理委員会事務局長（挨拶。）

平山委員長 ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できる限り簡略にお願いいたします。

今回、選挙管理委員会事務局につきましては、総務企画常任委員会に対する付託案件がございますので、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。執行部の説明を求めます。

局長、お願いします。

阿美選挙管理委員会事務局長（議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございました。

それでは、説明が終わりましたので、質疑とかご意見はございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 では、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

平山委員長 選管の所管の審査事項は以上となりますが、次第にはございませんが、その他で委員の皆様から何かございますか。

玉野委員。

玉野委員 （農業委員会委員選挙について）

平山委員長 よろしいですか。

伊藤委員。

伊藤委員 （衆院選期日前投票の状況について）

平山委員長 山本委員。

山本委員 （投票所変更の周知について）

鈴木副委員長 委員長にかわりまして、委員長。

平山委員長 （全国的な投票事務上のミスについて）

平山委員長 ありがとうございます。

そのほか、ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、ないようですので、選挙管理委員会事務局の皆様の方からその他で特に

何かございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、選挙管理委員会事務局の審査をこれで終了いたします。

大変ありがとうございました。

入れかえのため、暫時休憩となります。

休憩 午前11時45分

再開 午前11時46分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

会計課の審査

平山委員長 ここからは、会計課の審査となりますが、審査に先立ちまして、大島会計管理者からご挨拶をいただきたいと思います。お願いします。大島会計管理者兼会計課長（挨拶。）

平山委員長 ありがとうございました。

それでは、審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できるだけ簡略をお願いいたします。

今回、会計課につきましては、総務企画常任委員会に対する付託案件がございませんので、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 議案第72号 平成26年度那須塩原市

一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

お願いします。

大島会計管理者兼会計課長（議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見をお受けいたします。

質疑ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他

平山委員長 会計課の所管の審査事項は以上になりますが、その他で委員の皆様から何かございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 会計課の皆様からその他で何かございませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 それでは、ないようですので、会計

課の審査をこれで終了といたします。

きょうは、無理を言っちゃって大変申しわけございませんでした。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

それでは、午後1時からの開催となります。よろしくをお願いします。

休憩 午前11時50分

再開 午後 1時00分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

企画部の審査

平山委員長 ここからは企画部の審査となります。審査に先立ちまして片桐企画部長からご挨拶をお願いいたします。

片桐企画部長（挨拶。）

平山委員長 ありがとうございました。

企画情報課の審査

平山委員長 それでは、企画情報課の審査に入ります。

なお、執行部からの議案説明につきましては、できるだけ簡略をお願いいたします。

議案第80号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 初めに、議案第80号 那須地域定住自立圏共生ビジョン懇談会条例の制定についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

佐藤課長。

佐藤企画情報課長 （議案第80号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見をお受けいたします。

質疑はございませんか。

君島委員。

君島委員 すみません、4条の懇談会は15人以内をもって組織するということで、2項のほうでこういう人ということをやっているんですけども、これある程度具体的には、今の説明ですと、当初予算で日当等予算をとっているということなので、年度内ということなので、ある程度の考えはあるんですか。どのような人を選定しようかというような考えはあるんでしょうか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 第2項のほうに政策分野の関係及び自立圏構想に識見を有する者ということで規定をしてございます。

那須地域定住自立圏につきましては、環境、観光、さらに公共交通の分野ということで、協議をするということで想定しております。という中で考えれば、観光業界の関係の方とか、環境分野で関係している方ということになるかと思いますが、これにつきましては、この後88号議案等でご審議をいただく部分もございますが、政策分野に関する中で、連携します大田原市、それから那須町、那珂川町にそれぞれ選出を依頼するというところでございますので、那須塩原市としては、環境、観光、公共交通の分野から委員を選出し、連

携市町につきましては、その中から2名程度の選出をお願いするということになるかと思えます。

平山委員長 君島委員。

君島委員 そうしますと、今までいろんな委員を選んできて、依頼していて、市内、あるいは地元関係、地域をよく知っている人という形の選び方をするのか、それとも今までみたいに、とんでもないところからの方をお入れするのか、その辺はどうなんでしょうか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 参考までにと言いますか、八溝山周辺地域のほうでも同じように懇談会が設置されておりまして、そちらの委員としましては、那須塩原から観光部門ということで観光協会連絡協議会の会長、さらには駅前広場運営委員会の会長の方の二人を八溝山のほうについては推薦しているということですので、定住自立圏ということですので、地元の方を多く八溝山のほうでも委員として任命しているという経緯もございます。

部外者というのは失礼ですけども、地域圏内の方ということで、この定住自立圏の圏内の方を中心ということになるかと思えます。

平山委員長 君島委員。

君島委員 わかりました。ただ、それで思ったのは、今回、日当7,400円と上げてありまして、今までもやはり同じような形で上がっているんですけども、例えば東京方面とかから呼んだときに、7,400円じゃ合わないんじゃないのという話を聞いたことがあるんですけども、そのときにあくまでもこれは日当だけだから、実費弁償、旅費は別に払うんだというような話があったので、その辺だけはちょっと確認をとりたかったです。

わかりました。

平山委員長 ほかに質疑ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 討論もないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第80号 那須地域定住自立圏共生ビジョン懇談会条例の制定については、原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 はい、異議がないものと認めます。

よって、議案第80号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第83号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 次に、議案第83号 組織機構改革に伴う関係条例の整備等についてを議題といたします。

執行部に説明を求めます。

課長。

佐藤企画情報課長 （議案第83号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。

質疑、ご意見等をお受けいたします。

山本委員。

山本委員 1つは、第3条のところで、部長が1人ふえて46人になったと。その下のところが10名を新たにプラス1名で46名になったということなんです。これはこの条例、防災会議と同じ人たちにしたという理解でいいんですか、どう

いう人を10名選んだんですか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 防災会議のほうの規定の中に、8号委員という規定がございます。その8号委員の規定が自主防災組織の長及び学識経験のある者のうちから市長が任命するもの、これが10名という規定がございます。

それと同じように国民保護協議会の中に同じ10名の方で、選出区分が国民の保護のための措置に関して知識または経験を有する者という、その枠の中で同じ10名を入れたいという、要は選出区分の名称だけが違うだけで、人は同じということで進めていきたいということでの総務課のほうの説明がございました。

平山委員長 山本委員。

山本委員 つまり、防災会議に出る46人と、この国民保護協議会に出る46人は全く同じ人だという理解でよろしいということですね。

佐藤企画情報課長 そのとおりです。

山本委員 はい、わかりました。

平山委員長 山本委員。

山本委員 あともう一つ。

最後の6条のところなんです。6条の一番下の那須塩原市子育て相談センター条例、これ説明が多分施設として活用するんだというふうな説明だったと思うんです。

それで、センター長とその他職員を置くというものを除いてしまったときに、全協のときにいただいた資料の中では、子ども・子育て総合センターというのが、新たにというか、子ども未来部の子育て支援課の中に出ていて、今までの子ども課から出ている子育て相談センター、同じ形で出ているんですが、そうすると子ども・子育て総合センターの中に新たにまたそういうセンター長を置くという理解でここをなくしたということによる

しいんでしょうか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 今回の子ども未来部の設置に伴いまして、その組織の中に子ども・子育て総合センターが配置されます。その中に現在行っております子育て相談センターの事務をそっくり引き継いでそのまま事業も行うということです、子育て相談センターの事業については、新たな組織の中から人が事業のためにいきいきふれあいセンターのほうに行くということを想定しているという内容でございます。

平山委員長 山本委員。

山本委員 すみません。

そうすると、今ある子育て相談センターがなくなって、新たに子ども・子育て総合センターになるわけですね。でも施設として活用するということは、今ある子育て相談センターはそのまま残って、そこに今までは所長と職員がいたものを、所長と職員ではなくて、子ども未来部からどなたかが派遣されてそこにいと、所長というものはいなくなるという理解でよろしいんですか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 そのとおりでございまして、常駐はしていない。機能だけ残って事業実施をそこでやるというような内容のものです。

山本委員 了解しました。

平山委員長 ほかにございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第83号 組織機構改革に伴う関係条例の整

備等については、原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 はい、異議がないものと認めます。

よって、議案第83号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

ここで暫時休憩とします。

休憩 午後 1時21分

再開 午後 1時22分

平山委員長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

議案第88号～議案第90号の

説明、質疑、討論、採決

平山委員長 次に、お諮りいたします。

議案第88号 大田原市との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについてから、議案第90号 那珂川町との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについてまでの3件を一括議題にしたいと思いますが、異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第88号から議案第90号までの3件を一括議題といたします。

本件について執行部の説明を求めます。

課長。

佐藤企画情報課長 （議案第88号～議案第90号について説明。）

平山委員長 ありがとうございました。

説明が終わりましたので、3件一括で質疑、ご意見等をお受けいたします。

藤村委員。

藤村委員 私も記憶がちょっと怪しいんですけども、大田原が中心でやっていたときには、それぞれの市ごとで協定項目が違ったような気がしたんですけども、これは3つとも全部一緒なんです。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 これまでに、ことし4月1日推進協議会が設置されまして、あわせまして幹事会、さらには連絡調整会議、連絡調整会議は副市長、副町長が構成員となっておりますが、それらの中で協議をいたしまして、同一の内容で、差別化を図って、集中した中で環境、観光、公共交通という部分での協定項目を調整して上げたという内容でございます。

平山委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第88号 大田原市との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについてから、議案第90号 那珂川町との間において那須地域定住自立圏形成協定を締結することについてまでの3件については、原案のとおり可決すべきものとすることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 はい、異議がないものと認めます。

よって、議案第88号から議案第90号までの3件については、原案のとおり可決すべきものと決し

ました。

議案第91号の説明、質疑、討

論、採決

平山委員長 次に、議案第91号 公の施設の指定管理者の指定についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

佐藤企画情報課長 （議案第91号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりました。質疑、ご意見等をお受けいたします。

藤村委員。

藤村委員 53ページの健康長寿センターの指定管理の選定基準なんですけれども、例えば2番のこの施設の効用の最大限の発揮、管理経費の縮減、あと3番の物的能力、人的能力というのは、具体的にどのようなもので判断されるんですか。教えてくださいいただけますか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 私のほうからは、担当部署から提出されている書類に基づきましてご説明するところになってしまいうんですが、よろしいでしょうか。

〔「結構です」と言う人あり〕

佐藤企画情報課長 施設の効果的な活用と管理経費の縮減というところ、これにつきましては、この中をそれぞれ4つの項目に分けて評価をされているということでございます。

まず施設の効果的な活用の中では、温泉水の無駄を省き、余分なものを下水に流すのを抑制することに取り組むなど、専門知識を生かし、さまざま

まな工夫を行い環境に配慮する姿勢がうかがえるということで、4点をつけているということでございます。

それから管理経費の縮減ということですが、これにつきましては、省エネルギー対策に力を入れていく、それから温度管理により燃料費の削減が期待できる。それにエコにも配慮しながらサービス向上に努めているという観点が見られるということで5点評価になったというふうに聞いております。

〔「その下」と言う人あり〕

佐藤企画情報課長 すみません。管理を安定して行う物的能力、人的能力というところでの評価になりますが、施設の適切な維持管理ですけれども、これにつきましては、この施設の維持管理ために自動制御方式を取り入れる考えと、改善、工夫の考えが見られる。それから施設の設備化にも経験を生かすという点、それから先ほども申し上げましたが、維持管理にエコの考えを反映させているというところで4評価になってございます。

それから施設の適切な運営ということですが、これも、これにつきましては地元優先での雇用を考慮していく。さらには、衛生管理体制が専門的な知識を生かして万全な体制をとっているというところ。さらには、施設運営に資格を持った職員、自社で確保できている職員がいるということなどの観点から5評価になっているというところでございます。

申しわけございませんでした。

平山委員長 ほかに質疑ございませんか。

玉野委員。

玉野委員 議案書の54ページ、指定管理者は全部1団体または1協議会になっていますけれども、資料のほうの53ページ、1、2、3です。この中に株式会社那須環境技術センターほかとなってい

ますけれども、これは。

平山委員長 はい、どうぞ。

佐藤企画情報課長 応募につきましては、センターともう1団体、2団体の応募があったということでございます。

応募件数が2件ということで。

平山委員長 ほかに質疑ございますか。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 この那須環境技術センターですが、53ページでちょっとお話ししますが、長寿センターというのは、温泉管理だと思えます。利用する人は高齢者が多いかなと思うんですが、施設の維持管理と同じか、それ以上にお客さんに対するサービスというのも大事じゃないかなと思うんですが、それについては、3と4ということなんですけれども、こういったサービス事業の経験はあるんでしょうか、どうでしょうか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 那須環境技術センター自体の事業実績という部分については、大変申しわけございません。私の手元に確認できる資料はございませんが、利用者に対するサービスの向上という点で4評価になってございます。これにつきましては、今後、教育対応等を行っていくという観点がありました。

また、今後、基本協定、メイン協定を結ぶというところで、報告が義務づけられます。その中で必要な指導等を行っていく、また意見交換等の機会も相談会で行って、サービスの向上に努めるという機会を設けていくというような提案もございました。

平山委員長 鈴木副委員長。

鈴木副委員長 今の話が、端的に言うと、業務上のそういったサービス経験が今まではないと、初めてこういう市民に対してサービス業をやるとい

うことで捉えてよろしいですか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 大変申しわけございません。そこまで私ども把握してございませんが、そういうサービス向上、サービスに対する提案もあって、公募の中にはそういう項目も含まれていると、その提案自体が非常に評価に値するものだというふうに理解してございます。

平山委員長 山本委員。

山本委員 聞いていて、やっぱり聞きたいと思ったんですけども、すみません。

今まで、公募をしないで同じところに頼んでいた。理由はわからないんですけども、公募をしていないところを見ると、特に市と何とかかんととか、利用がどうのこうのと書いてあるんですが、そもそも指定管理者に頼んでいるものは、市と関係しているところだし、市民サービスに寄与するところなので、理由は全部同じだと思うんです。

ですけれども、ずっと公募をかけないで、非公募で施設振興公社がやっていたものを、改めて、この温泉は施設だけですよね、あとの文化会館はとっていますので、を非公募ではなく公募にしたその理由は、公募でとったらお風呂の管理の別にプロではないというようなところの理由は、改めてどうということなのかお聞かせいただきたいと思います。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 指定管理者の指定につきましては、その手続を条例で規定しておりまして、その手続自体が基本的には公募というのを基本に置いております。合理的な理由がある場合には特定の団体に指定管理ができるという条文構成になっておりまして、基本的には公募で行うということでございます。

現在、市の管理している施設は65施設ございますが、そのうち現状では10個の施設が特定の団体になってございます。そのうち今回この長寿センター並びにグリーングリーン、それから板室自然遊学センターの3つが今回公募になりますので、65の施設のうちの7施設が特定の団体での管理施設ということになります。それにつきましては、それぞれに合理的な理由があるということで、特定の団体に指定されるということでございます。

先ほどの新たに公募になった施設の関係で質問ございました。このグリーングリーン、それから遊学センター、健康長寿センター、これにつきましては、全て施設振興公社が現在指定管理しているということでございます。

これにつきましては、黒磯文化会館を中心に指定管理の対応を集約していくという意向。さらにはこの施設を管理します健康増進課、並びに商工観光課からの意向、指定管理者との意見交換があったんだと思いますけれども、その意向をもとにしまして選定委員会の中で公募にするということで決定をしたということで、今回の手続を進めているという状況でございます。

平山委員長 山本委員。

山本委員 であるならば、ここの2つの施設について、何か問題が起きたとか、そういうことがあったということではないというふうに理解してよろしいですか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 私まで達していない部分があるかどうかわかりませんが、トラブル等の発生については特に聞いておりませんが、実際には指定管理者とお客さんの間で、十分なサービス向上に努めているということだろうと思います。

平山委員長 部長。

片桐企画部長 きのもうもご質問あってお答えした

ところで、先ほど課長のほうからありましたように、施設振興公社につきまして、黒磯文化会館に特化して、進めていきたいという話がございまして、その理由としましては、職員の体制というのが一つあるんだというような話は聞いてございます。

以上です。

平山委員長 山本委員。

山本委員 今まで施設振興公社が4つのところをやっていた。それも非公募でやっていたということとは、そこが特段すばらしいだろうと、市との関係からいってもいいだろうということで多分頼んでいて、ここまで来たんだと思うんです。

そのうち1つはいいけれども、3つはやめるよといったときに、今職員がというお話がありましたけれども、では、これは全く市がこの長寿センター、グリーングリーン、自然遊学センターを管理してもらっていることに対して、何か不都合とか、あるいは市民とのトラブルがあったのではなくて、施設振興公社のほうの公社自体の規模を小さくしていきたいという意向があって、その中にこの3つの施設はもう管理することができないからやめさせていただきたいんですというふうに言ってきたので、それを受けて公募にしたということでよろしいんですね。

平山委員長 部長。

片桐企画部長 そのように聞いてございます。

平山委員長 ほかに質疑ございませんか。

君島委員。

君島委員 これ、きのう山本委員のほう聞いていたら結構なんです、これ今まで3年できたものが5年になった理由というものをちょっとお聞きしたいのと、それから長寿センターのほう、個人的な部分といいますか会社のほうで聞いちゃ大変失礼なのかもしれないんですけども、この那

須環境技術センターというのは、現在、庁舎のほうの管理をやっている会社でよろしいんでしょうか、この2つをちょっとお願いしたいんですが。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 3年と5年ということですが、指定、特定の場合には3年、公募の場合には5年ということで選定をするということになります。

古内企画情報課参事監 今のここの庁舎の管理は環境整備というところが昔からやっています、今回のとはまた別です。全く違う会社です。

君島委員 はい、わかりました。結構です。

平山委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がほかにないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第91号 公の施設の指定管理者の指定については、原案のとおり可決すべきものとすることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 はい、異議がないものと認めます。

よって、議案第91号については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

ここで暫時休憩をいただきます。

休憩 午後 1時55分

再開 午後 2時05分

平山委員長 それでは、休憩前に戻り引き続き会議を再開します。

議案第93号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 次に、議案第93号 新市建設計画の変更についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

佐藤企画情報課長 （議案第93号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見をお受けいたします。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 28ページのご説明の中で、主要事業の中で東三島線何とかかんとかを見送りと言ったところなのですが、ちょっとどここの場所かがイメージが湧かなかったの、具体的にどここの道路を、どういう計画が削除になったのか。その削除になった理由についてもう少し詳しくご説明をいただければと。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 28ページの主要道路網の整備という項目でございます。その中で、東三島塩野崎線、地図がついていなくて大変申しわけないのですが、それから3・4・2 豊浦通り、それから黒磯インターチェンジ線、この3本が市街地を一体化する道路の整備の中から消されているということです。これにつきましては、市道路整備計画において道路の位置づけがなされていないということでの見送りということでございます。

位置図については大変申しわけございませんが……。

片桐企画部長 全協でお配りした資料には……

山本委員 載ってる。3・4・2。これ見せたほ

うが早い。

〔図面確認〕

平山委員長 ほかに質問ございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第93号 新市建設計画の変更については、原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第93号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第72号の説明、質疑、討論、採決

平山委員長 それではここで、予算常任委員会（第一分科会）に切りかえて審査を行います。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

執行部の説明を求めます。

課長。

佐藤企画情報課長 （議案第72号について説明。）

平山委員長 ありがとうございます。

説明が終わりましたので、質疑、ご意見等をお受けいたします。

鈴木副委員長。

鈴木副委員長 ご説明いただいた5ページの、301

事業、情報系システム管理費、今西那須野のということだったのですが、具体的にどこの道路なのか、多分道路だとは思いますが、どこのあたりなのかを説明いただけますか。

平山委員長 課長。

佐藤企画情報課長 路線につきましては、西那須野停車場線ということで、駅につながるメイン道路の工事に伴うものです。

平山委員長 鈴木副委員長。

鈴木副委員長 駅前の道路だけですか。それとも一つ、塩原のほうを見て左側の、A Q U A Sのほうに行く道路は、あそこの地中化というふうにちょっと聞いたのですが、その地中化が、そこに住んでいる人が言うわけなのです。そこにとまっていると言われたのですよ。なので、この話を聞くと地中化、そことは関係がないのですか。相楽企画情報係長 とまっているというところの話はちょっと把握はしていないのですが、停車場線で今は電柱に線を引っかけていたのですが、地中化で電柱がなくなってしまうものですから、そこに今度線を通さなくては行けなくて、それにかかってくる工事の費用ということになってくると思います。

鈴木副委員長 委員長。

平山委員長 はい。

鈴木副委員長 多分これで最後になると思うのですが、駅前通りというのは4号線ぐらいまでずっと、どこまでかわからないのですが、始点終点あたりはご説明いただけますか。

相楽企画情報係長 図面を今持っていないので正確なところはわからないのですが、全部ではなく4号線まで行く間の、その半分かっていたと記憶しています。

鈴木副委員長 中央通りは越えます、越えません。足銀のところ。

相楽企画情報係長 足銀の通りは越えます。

鈴木副委員長 越えて、その先ちょっと狭まるのですが、歩道が狭まるあたりまででしょうか。

相楽企画情報係長 はい、だったと記憶しています。

鈴木副委員長 ありがとうございます。

平山委員長 山本委員。

山本委員 今のところの、5ページのもう一つ上のところの国内の情報2カ所という番号制度中間サーバープラットフォーム整備の124万6,000円というのは、1回だけ出せば終わるものなのか、毎年こういうものを負担していくものなのか知りたいです。

相楽企画情報係長 整備に関しては本年度と、それから来年度2年間で整備をします。その後は、保守がかかってきますのでその負担金ということが毎年かかってくるようになります。

平山委員長 山本委員。

山本委員 先ほど、この124万6,000円がその頻度とか量とかで、どことどの市と同じくらいだというふうに説明があったのですが、そうしますと今回ここで払う124万6,000円というのは1年分とかそういうものではなくて、最初に払って来年も払って、その後は保守分が少し減った分で払っていくと、ずっとこれを続ける限りどこかに負担、どこかに出していくというふうなものということではないのですか。

相楽企画情報係長 はい。

平山委員長 ほかにございませんか。

〔発言する人なし〕

平山委員長 それでは、質疑がないようですので、質疑を終了し、討論を許します。

討論ございますか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 討論がないようですので、討論を終結し、採決いたします。

議案第72号 平成26年度那須塩原市一般会計補正予算（第7号）は原案のとおり可決すべきものとするに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

平山委員長 異議がないものと認めます。

よって、議案第72号につきましては、原案のとおり可決すべきものと決しました。

企画情報課所管の審査事項は以上になります。

その他

平山委員長 次第にはございませんが、その他で委員の皆様から何かございますか。

玉野委員。

玉野委員 （旧TEPCO塩原ランドの跡地利用について）

平山委員長 伊藤委員。

伊藤委員 （撤去するからくり時計の取り扱いについて）

平山委員長 鈴木副委員長。

鈴木副委員長 （人口動態について）

平山委員長 そのほかにご覧いませんか。

〔「ありません」と言う人あり〕

平山委員長 企画情報課の皆様から、その他でございいますか。

佐藤課長。

佐藤企画情報課長 （事業及び募集・アンケートに関する中間報告について）

平山委員長 ありがとうございます。

それでは、企画情報課の審査をこれで終了いたします。大変お疲れさまでした。

休憩 午後 2時42分

再開 午後 2時44分

平山委員長 それでは、休憩前に引き続き会議を開きます。

その他

平山委員長 次第4、その他に入ります。

事務局からの連絡があります。事務局、お願いします。

小池書記（事務連絡。）

平山委員長 委員の皆様から何かございますか。

ありませんか。

〔「はい」と言う人あり〕

散会の宣告

平山委員長 それでは、これで本定例会における委員会の議事日程は全て終了いたしました。

本委員会及び分科会の審査報告書は、本職が作成し議長に提出いたしますので、ご一任くださるようお願い申し上げます。

これをもちまして総務企画常任委員会及び予算常任委員会（第一分科会）を閉会いたします。

大変お疲れさまでした。

散会 午後 2時47分